試聴会・訪問記収載

オーディオセッション in Osaka 2025 報告(2025.11.29)

１．はじめに

オーディオセッション in Osaka 2024 は 11 月 29 日から 11 月 30 日まで、心斎橋ハートンホテルと IP CITY ホテル OSAKA で開催されました。以下は、オーディオセッション in Osaka 2025 の報告です。

２．デモの概要

出展各社の一覧表と出展各社のイベント内容は、下記で紹介されています。

https://audiosession.main.jp/date/

https://audiosession.main.jp/map/

https://audiosession.main.jp/companylist/

https://audiosession.main.jp/event/

出展社リスト

エイ・アンド・エム　エミライ　オーディオテクニカ
オーロラサウンド　完実電気　光城精工
協同電子エンジニアリング　クリプトン
JVC ケンウッド　スペック　チーム・フォース
ティアック　エソテリック　デンソーテン
ディーアンドエムホールディングス(DENON)
ディーアンドエムホールディングス（MARANTZ)
テクニカルオーディオデバイセズラボラトリーズ
ネットワークジャパン　パナソニック　ナハオカトレーディング
ヒノエンタープライズ　ブライトーン　PROSTO
ヤマハミュージックジャパン　六本木工学研究所　WAPAN

各社のイベントの概要は以下のとおりです。

オーディオセッションイベント内容

これら出展社の中から興味を引いたものを下記に記します。
エミライ
Aurender のネットワークシステムで再生中の曲の画像をモニターで出しながら Qobuz の再生を行っていました。女性ボーカルがかかっていましたので、クラシックも再生してもらいました。
OMNI LAN と OMNI USB の展示があり、後者に興味を持っていることを伝えました。また、同社扱いの LAN iPurifier Pro は配信音源の音質向上に役立っているますが、不具合発生時の迅速な情報効果と対応を望むことを伝えました。

完実電気
完実電気では、トライオードから引き継いだ Western の 300B のメンテナンスの確認をしました。

光城精工
光城精工では、仮想アースと電源タップのデモを行っていました。鬼太鼓のようなアナログがかかっていましたが、Herbeth のスピーカーらしからぬ追力を出していました。

協同電子エンジニアリング

Phasemation ブランドのシステムでアナログを再生していましたが、いかにもハイエンドのアナログらしい音がしていました。

テクニクス

テクニクスのブースではワイヤレススピーカーシステム SC-CX700 をアナログ再生でデモしていました。SC-CX700 は入出力が豊富なパワードスピーカーで Spotify などの配信にも対応した新しいオーディオスタイルを提案していました。

先般のシマムセンでのダイレクトドライブのアナログプレイヤーに関して、そのメリットはノイマンのカッティングマシンがダイレクトドライブであることから相性が良いのではないかという説明に関して、ノイマンのカッティングマシンがダイレクトドライブを採用する以前にカッティングされたアナログ盤も多いことを伝えました。

以下、写真のみ掲載します。

TAD

エソテリック

オーロラサウンド

クリプトン

TEAC

オーディオテクニカ

４．まとめ

音質面で説得力があったのは光城精工と Phasemation の製品でした。いくつかのブースでは意見交換や情報入手ができました。

以上